

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>平成24年 6月 日</p> <p>愛知県知事 殿</p> <p>提出者</p> <p>住 所 愛知県東海市新宝町31番地</p> <p>氏 名 東レ株式会社 東海工場</p> <p>工場長 中嶋 隆文</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 052-604-3171 (代表)</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	東レ株式会社 東海工場
事業場の所在地	愛知県東海市新宝町31番地
計画期間	平成24年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16:化学工業
②事業の規模	製造品出荷額(平成22年度) 6,811,880万円
③従業員数	256名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃アルカリ:自社中間処理減量後、委託処分(埋立) ばいじん:直接委託処分(セメント原料) 燃えがら:直接委託処分(セメント原料)、最終処分業にて埋立処分 汚泥:自社中間処理減量後委託処分(焼却)、直接委託処分(焼却) 廃油:直接委託処分(焼却・エマルジョン燃料化) 廃プラ:直接委託処分(埋立・原料化・燃料化) 木くず:直接委託処分(原料化・燃料化) ガラス・陶磁器屑:直接委託処分(材料・埋立)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>工場長</p> <ul style="list-style-type: none"><li>├── 環境保安管理委員会 ─── 関係会社</li><li>├── 環境保安課長 (処理責任者、処分責任者)<ul style="list-style-type: none"><li>└── 環境掛員 (産業廃棄物処理施設技術管理者)</li></ul></li><li>├── 環境保安課掛長 (特別管理産業廃棄物管理責任者)</li><li>├── 製造部課長 (保管責任者)</li><li>├── 工務部課長 (保管責任者)</li><li>└── 総務課長 (保管責任者)</li></ul>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	<b>【前年度 (平成23年度) 実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり	別紙-1のとおり
	排出量	別紙-1のとおり	別紙-1のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙-1のとおり		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり	別紙-1のとおり
	排出量	別紙-1のとおり	別紙-1のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙-1のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、ガラス陶磁器屑、木くず、 場内分別ルール (ISO14001) の教育		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 場内分別ルール (ISO14001) の教育継続		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 平成23年度 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 平成24年度 予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	21,856.20 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	21,795.04 t	35,730.09 t
	(これまでに実施した取組) 廃アルカリ：発生工程の適正管理による、中間処理設備工程安定化 汚泥：中間処理設備の工程安定化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	22,000.00 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	21,950.00 t	43,385.10 t
	(今後実施する予定の取組) 廃アルカリ：現状継続 汚泥：現状継続		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 平成23年度 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 平成24年度 予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり	別紙-2のとおり
	全処理委託量	別紙-2のとおり	別紙-2のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-2のとおり	別紙-2のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙-2のとおり	別紙-2のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙-2のとおり	別紙-2のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙-2のとおり	別紙-2のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙-2のとおり		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙－2のとおり	別紙－2のとおり
	全処理委託量	別紙－2のとおり	別紙－2のとおり
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙－2のとおり	別紙－2のとおり
	再生利用業者への 処理委託量	別紙－2のとおり	別紙－2のとおり
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙－2のとおり	別紙－2のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙－2のとおり	別紙－2のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙－2のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙－ 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス・陶磁器屑
排出量	21,856.20 t	35,229.37 t	3,622.40 t	41,923.58 t	1,189.06 t	340.42 t	207.78 t	54.48 t

【取り組み】

廃アルカリ、汚泥、廃油 : 発生工程の適正管理による、発生量増加抑制

ばいじん、燃えがら : 発電用ボイラーの石炭代替え燃料使用による、発生量抑制

廃プラ、木くず、ガラス・陶磁器屑 : 場内分別ルール (ISO14001) 教育による、分別強化

②計画

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス・陶磁器屑
排出量	22,000.00 t	45,000.00 t	6,200.00 t	50,000.00 t	1,350.00 t	400.00 t	210.00 t	60.00 t

【取り組み】

増産・増設により、発電関係のばいじん・燃えがらや廃アルカリ・汚泥・廃油・廃プラと発生量が増加となるが、引き続き石炭代替え燃料使用促進や発生工程管理強化により、発生原単位が悪化しないよう発生量抑制に努める。

別紙－ 2

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス・陶磁器屑
全処理委託	61.16 t	35,229.37 t	3,622.40 t	6,193.49 t	1,189.06 t	340.42 t	207.78 t	54.48 t
優良認定業者委託	t	t	t	456.19 t	t	t	t	2.68 t
再生利用業者委託	t	t	t	t	t	t	207.78 t	t
認定熱回収業者委託	t	t	t	t	t	t	t	t
他熱回収業者委託	t	35,229.37 t	3,574.23 t	5427.63 t	20.78 t	34.96 t	t	t

【取り組み】

現行処理委託しているセメント会社、中間処理業者の優良認定および熱回収認定が見込んでいたより進んでいない。

現地確認（監査）時に認定取得の推進をお願いしている。

②計画

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス・陶磁器屑
全処理委託	50.00 t	45,000.00 t	6,200.00 t	6,614.90 t	1,350.00 t	400.00 t	210.00 t	60.00 t
優良認定業者委託	t	t	t	1,920.00 t	1,000.00 t	100.00 t	t	t
再生利用業者委託	t	t	t	t	t	200.00 t	210.00 t	5.00 t
認定熱回収業者委託	t	t	t	t	t	t	t	t
他熱回収業者委託	t	45,000.00 t	6,200.00 t	4,694.90 t	350.00 t	100.00 t	t	t

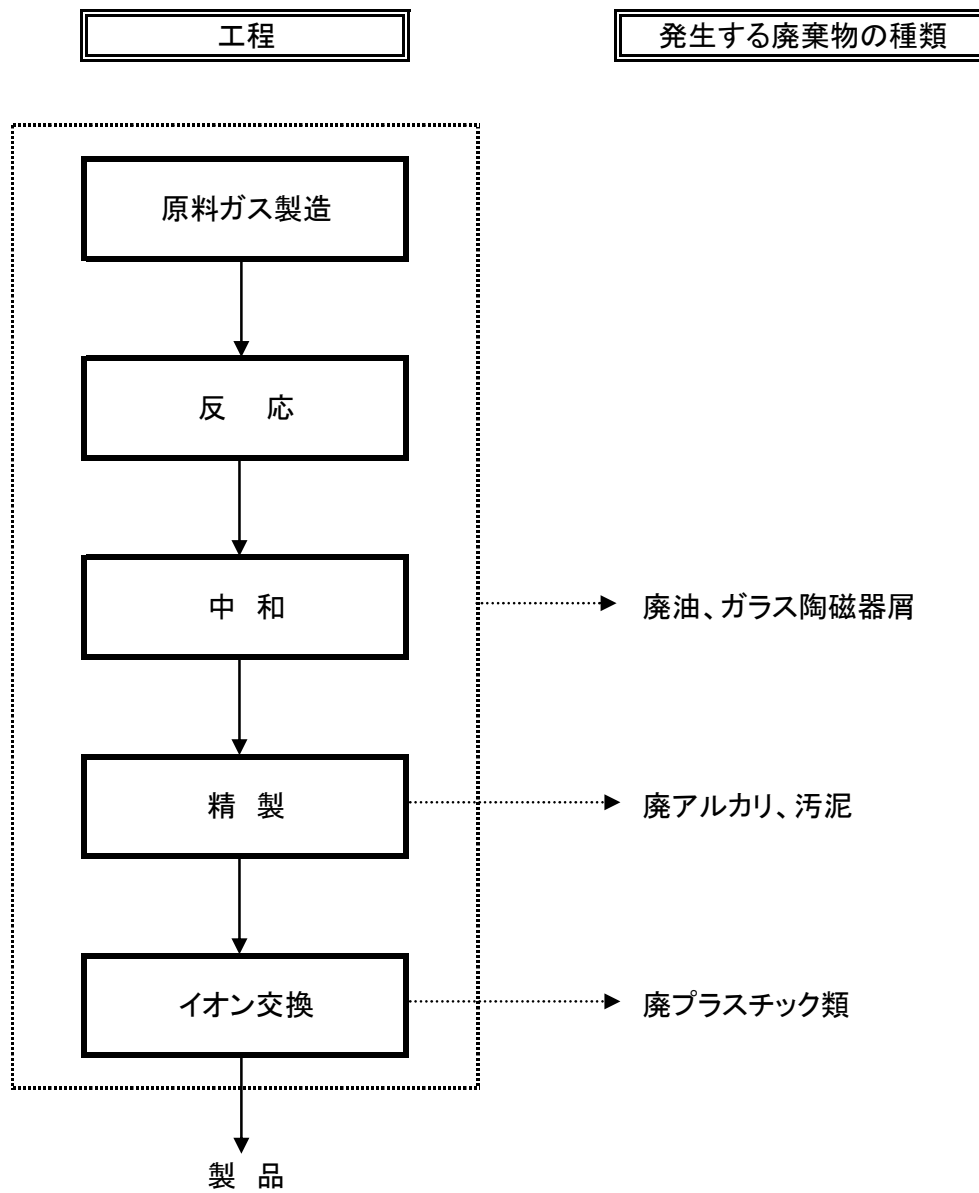
【取り組み】

昨年度に引き続き、認定取得推進をお願いするとともに非対応が長く続きそうな場合認定業者への切り替えも検討する。



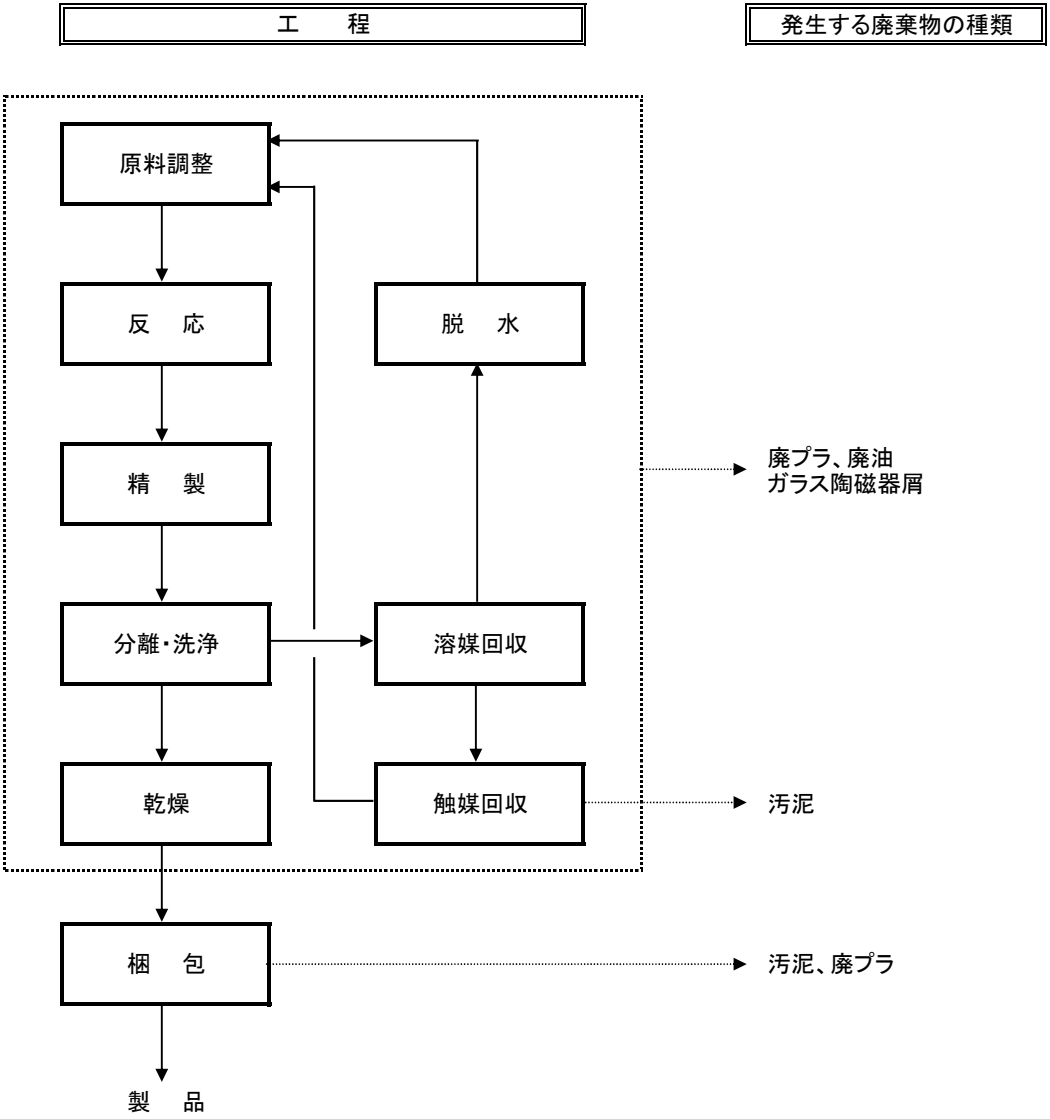
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名:カプロラクタム製造工程



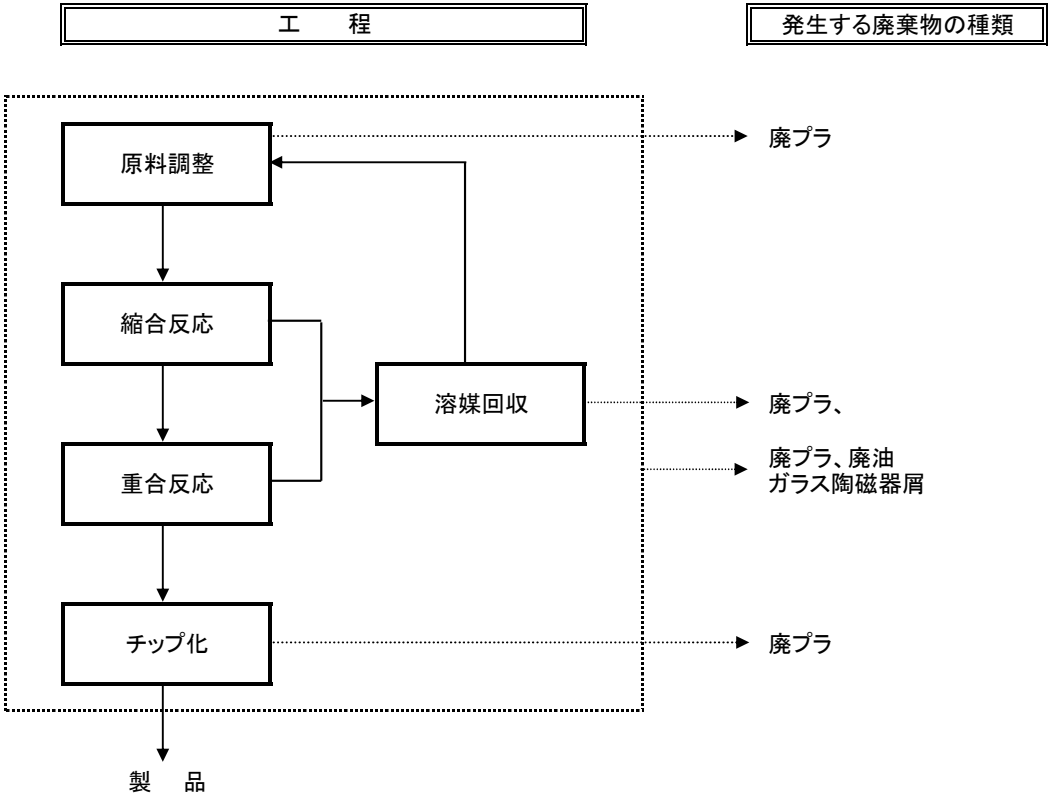
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名:テレフタル酸製造工程



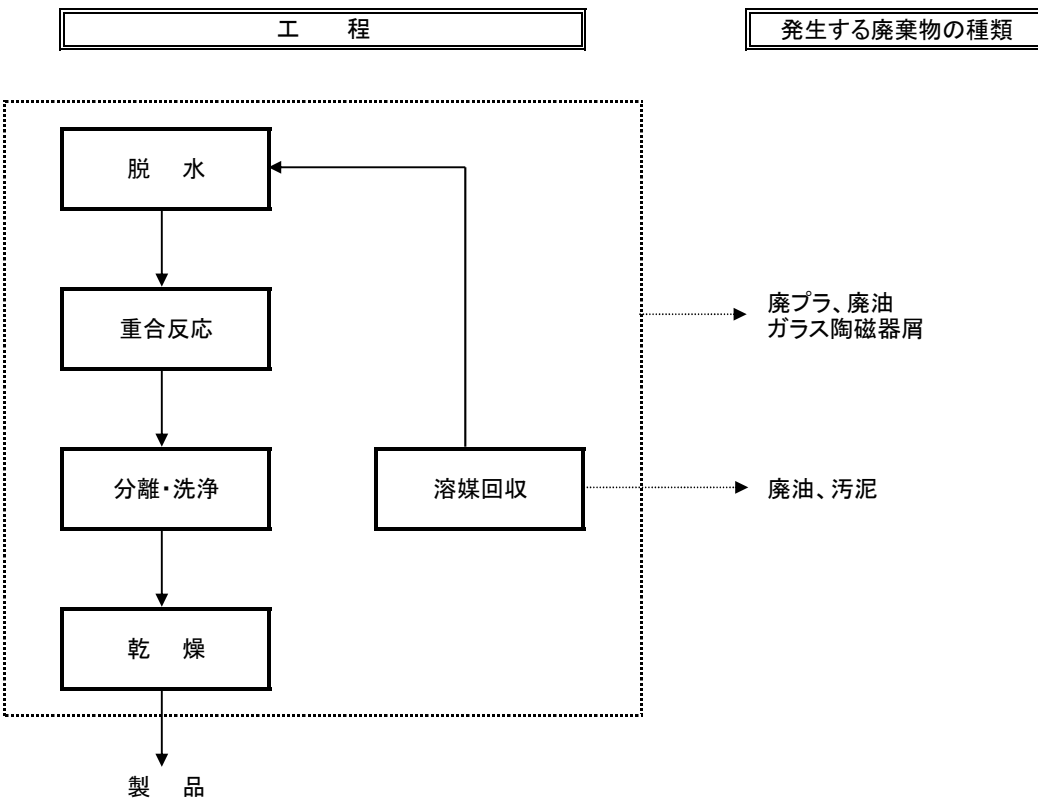
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名: ポリエステルチップ製造工程



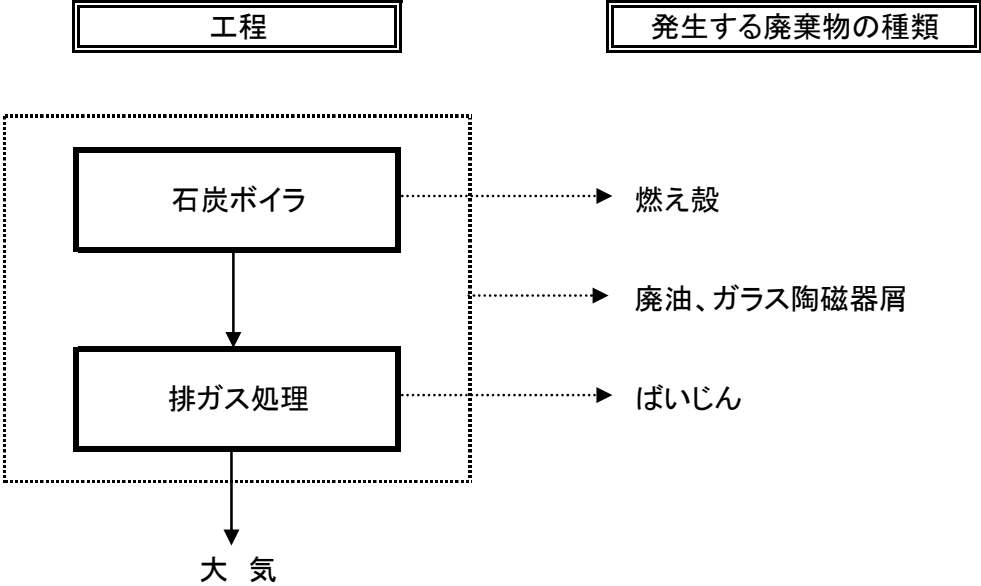
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名: ポリフェニレンサルファイド樹脂製造工程



産業廃棄物発生工程フローシート

工程名: 蒸気製造工程



産業廃棄物発生工程フローシート

工程名:排水処理工程

